

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3127386号
(U3127386)

(45) 発行日 平成18年11月30日(2006.11.30)

(24) 登録日 平成18年11月8日(2006.11.8)

(51) Int. Cl.			F I		
HO 4 M	1/21	(2006.01)	HO 4 M	1/21	D
HO 4 M	1/04	(2006.01)	HO 4 M	1/04	A
HO 4 R	1/06	(2006.01)	HO 4 R	1/06	3 1 0

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2006-7610 (U2006-7610)
 (22) 出願日 平成18年9月20日(2006.9.20)

(73) 実用新案権者 501228875
 黄 月雲
 台湾台北県土城市中華路1段70巷12号
 (74) 代理人 100111442
 弁理士 小原 英一
 (72) 考案者 黄 月雲
 台湾 台北県土城市中華路1段70巷12号

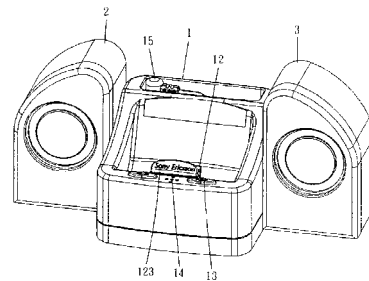
(54) 【考案の名称】 多機能音声効果補助装置

(57) 【要約】

【課題】 携帯電話端末及びマルチメディアスピーカーと結合し、特に各種ブランドの携帯電話と接続し充電、再生、ハンズフリーによる使用及び各種マルチメディア音声再生機能を達成する多機能音声効果補助装置を提供する。

【解決手段】 主に各式携帯電話端末を設置及び接続可能な本体ベースを利用し、該本体ベース上にはUSB接続端、電源入力端、低音スピーカー出力端を設置し、該本体ベースは左右対称なスピーカーセットを接続し、各種ブランドの携帯電話端末或いはマルチメディア再生装置と接続することで、充電或いはハンズフリー或いは音声効果補助機能を達成する。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

主に本体ベースと1組の左右対称なスピーカーセットを含み、

該本体ベースの適当な位置には各式携帯電話端末を設置可能な設置凹槽を設置し、該設置凹槽内には可動接続台が設置可能で、該可動接続台は各ブランドの携帯電話端末及び該本体ベースと電氣的に接続し、しかも該本体ベース上には音量調整ボタン、マイク、音声効果入力端子、USB接続端、電源入力端、低音スピーカー出力端を設置し、

該スピーカーセットは該本体ベースと接続し、こうしてシンプルなコンピュータマルチメディアスピーカーセット、或いは、対応する携帯電話端末ブランドの可動接続台を選択することで、該携帯電話端末を該可動接続台上に設置し、該本体ベースと接続可能とし、充電或いはハンズフリー或いはマルチメディア音声効果再生などの音声効果補助機能を達成することを特徴とする多機能音声効果補助装置。

10

【請求項 2】

前記スピーカーセットの音声効果接続端子は収納及び延伸式の音声効果接続端子であり、使用時には該スピーカーセットを該本体ベース両側より外に向けて離すことができることを特徴とする請求項 1 記載の多機能音声効果補助装置。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、一種の携帯電話とマルチメディアスピーカーを結合する多機能音声効果補助装置に関する。特に一種の各種ブランドの携帯電話と接続し充電、再生、ハンズフリーによる使用及び各種マルチメディア音声再生機能に適した音声効果補助装置に係る。

20

【背景技術】**【0002】**

一般の携帯電話端末の充電器、ハンズフリー装置、音響スピーカーセットなどは、みなそれぞれ独立した設備或いは装置に属する。しかも大多数は単一機能だけを具えるため、使用機能及び応用範囲は制限されている。

現在IT業界で広く使用されているUSB及びMP3などの関連製品には、USB接続による携帯電話端末を充電する充電器、USB接続によりイヤホンを通して音楽をダウンロードし再生などを行うMP3装置、USB接続によりスピーカーセットを通して音楽を再生するスピーカーなどがある。しかし、製品の多くは単一目的向けに単一の使用機能を具えるタイプである。

30

【特許文献 1】実用新案登録第 3083582 号公報**【考案の開示】****【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

公知構造には以下の欠点があった。

すなわち公知の携帯電話端末の充電器、ハンズフリー装置、音響スピーカーセットなどは独立した設備或いは装置で、単一機能だけを具えるため、使用機能及び応用範囲は制限されており、現在広く普及しているUSB及びMP3などの関連製品も、多くは単一目的向けに単一の使用機能だけを具えるタイプである。

40

本考案は上記構造の問題点を解決した多機能音声効果補助装置を提供するものである。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

上記課題を解決するため、本考案は、それは主に携帯電話端末とマルチメディアスピーカーを結合する多機能音声効果補助装置を提供し、すなわち、それは各式携帯電話端末を設置及び接続可能な本体ベースを利用し、該本体ベース上にはUSB接続端、電源入力端、低音スピーカー出力端を設置し、該本体ベースは左右対称なスピーカーセットを接続し、携帯電話端末或いはマルチメディア再生装置と接続することで、充電或いはハンズフリー或いは音声効果補助機能を達成し、また、それは、各種ブランドの携帯電話端末につい

50

て、充電、ハンズフリー、マルチメディア音声効果再生などの音声効果補助機能を達成し、使用を選択する可動接続台により各ブランドの携帯電話端末と接続し、該可動接続台上には各式接続ジョイントを設置し、各ブランドの携帯電話端末と電氣的に接続し、充電或いはハンズフリー或いはマルチメディア音声効果再生などの機能を達成することを特徴とする多機能音声効果補助装置である。

【0005】

すなわち、請求項1の考案は、主に本体ベースと1組の左右対称なスピーカーセットを含み、該本体ベースの適当な位置には各式携帯電話端末を設置可能な設置凹槽を設置し、該設置凹槽内には可動接続台が設置可能で、該可動接続台は各ブランドの携帯電話端末及び該本体ベースと電氣的に接続し、しかも該本体ベース上には音量調整ボタン、マイク、音声効果入力端子、USB接続端、電源入力端、低音スピーカー出力端を設置し、該スピーカーセットは該本体ベースと接続し、こうしてシンプルなコンピュータマルチメディアスピーカーセット、或いは、対応する携帯電話端末ブランドの可動接続台を選択することで、該携帯電話端末を該可動接続台上に設置し、該本体ベースと接続可能とし、充電或いはハンズフリー或いはマルチメディア音声効果再生などの音声効果補助機能を達成することを特徴とする多機能音声効果補助装置である。

10

請求項2の考案は、前記スピーカーセットの音声効果接続端子は収納及び延伸式の音声効果接続端子であり、使用時には該スピーカーセットを該本体ベース両側より外に向けて離すことができることを特徴とする請求項1記載の多機能音声効果補助装置である。

【考案の効果】

20

【0006】

本考案によれば、スピーカー、充電器、ハンズフリー装置、音声再生装置などの製品の機能を結合することができ、各種ブランドの携帯電話端末と接続し、充電、再生、ハンズフリー使用を提供し、さらに音声入力端子或いはUSB接続端を経由し接続可能で、多機能音声効果補助機能を達成することができる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0007】

本考案の多機能音声効果補助装置の好適な実施例を図面を参照して説明する。

図1、2に示すように、本考案の実施例の多機能音声効果補助装置は主に本体ベース1と1組のスピーカーセット2、3を含む。

30

次に、該本体ベース1の適当な位置には各式携帯電話端末を設置可能な設置凹槽11を設置し、該設置凹槽11には接続端111を設置する(図2、図7参照)。図3~6に示すように、該設置凹槽11内には可動接続台12を設置し、該可動接続台12両面には該設置凹槽11の接続端と電氣的に接続する単一化接続端121、及び異なるブランドの携帯電話端末4の接続端41と対応し接続する応変接続端122をそれぞれ設置する。

この各種のブランドに対応した可動接続台12を選択して取り替えることにより、各種ブランドの携帯電話端末4と電氣的に接続する可動接続台12は、該本体ベース1の設置凹槽11中に設置され、該本体ベース1と接続する。

【0008】

前記可動接続台12の前縁にはソニーエリクソン(登録商標)などの該携帯電話端末4のブランドシール123を設置し、こうして、各ブランド携帯電話端末4を区別し、該可動接続台12の該単一化接続端121と該応変接続端122により、該本体ベース1と該携帯電話端末4は電氣的に接続する。

40

該本体ベース1前方位置には音量調整ボタン13とマイク14を設置する。一方、該本体ベース1上には音声効果入力端子15、USB接続端16、電源入力端17、低音スピーカー出力端18を設置し、充電或いはハンズフリー或いはマルチメディア音声効果再生などの音声効果補助機能を達成する。

該本体ベース1の両側上にはスピーカー接続端孔19を設置し、対応する2個のスピーカーセット2、3を設置する。該スピーカーセット2、3の音声効果接続端子21、31により該スピーカー接続端孔19を接続し、該スピーカーセット2、3と該本体ベース1

50

の接続機能を達成する。

【0009】

上記構造により、本考案の実施例は、該音声効果入力端子15 或いはUSB 接続端16 によりコンピュータの音声効果出力端、携帯電話端末音声効果出力端、USB 接続端に接続し、該電源入力端17 により電源を入力し、こうしてシンプルなコンピュータマルチメディアスピーカーセットとすることができる。

このように各種携帯電話と接続し、携帯電話端末の充電、再生、ハンズフリーによる使用、及び、各種マルチメディア音声再生機能を有する。

本発明の実施例の特徴は、対応する携帯電話端末ブランドの可動接続台12 を選択することで、該携帯電話端末を該可動接続台12 上に設置可能となり、該単一化接続端121 10 と該本体ベース1 の接続を通して、充電或いはハンズフリー或いはマルチメディア音声効果再生などの音声効果補助機能を達成することである。

上記スピーカーセット2、3 の音声効果接続端子21、31 は収納及び延伸式の音声効果接続端子であるため、使用時には該スピーカーセット2、3 を延伸のためのコード等により該本体ベース1 の両側より外に向けて離すことができる。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】本考案の組合せ立体図である。

【図2】本考案の部分分解立体図である。

【図3】本考案の組合せ前面図である。

【図4】本考案の組合せ後の後面図である。

【図5】本考案の組合せ俯瞰図である。

【図6】本考案の組合せ側面図である。

【図7】本考案実施例の組合せ側面指示図である。

【符号の説明】

【0011】

1 本体ベース

11 設置凹槽

111 接続端

12 可動接続台

121 単一化接続端

122 応変接続端

123 ブランドシール

13 音量調整ボタン

14 マイク

15 音声効果入力端子

16 USB 接続端

17 電源入力端

18 低音スピーカー出力端

19 スピーカー接続端孔

2 スピーカーセット

21 音声効果接続端子

3 スピーカーセット

31 音声効果接続端子

4 携帯電話

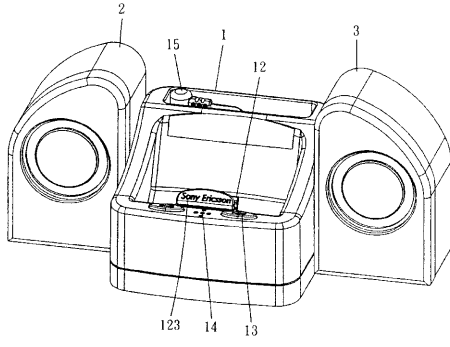
10

20

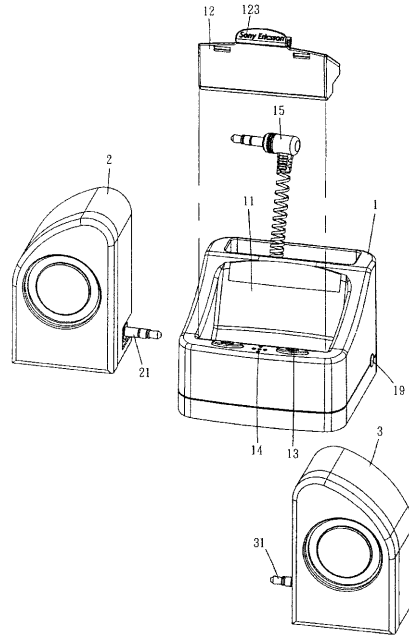
30

40

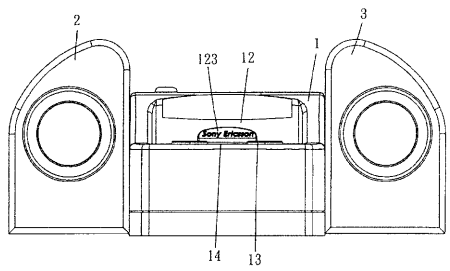
【 図 1 】



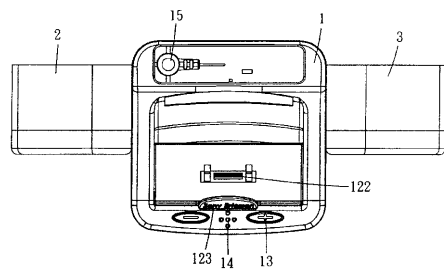
【 図 2 】



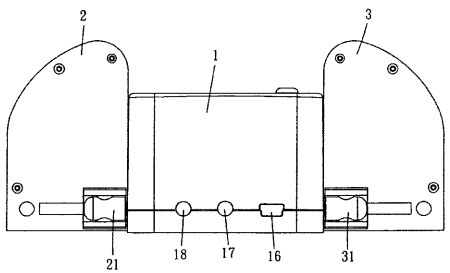
【 図 3 】



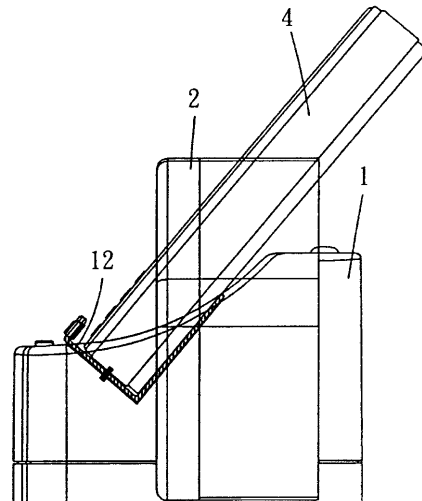
【 図 5 】



【 図 4 】



【 図 6 】



【 図 7 】

